

『車窓に映る春の記憶』

094 ヒューマンキャンパス高等学校秋葉原学習センター

あれはいつだっただろうか、、、

上京してから早数年。帰省するため、特急に乗り込んだ。

揺れる車内で仮眠を取り、目をこすりながら外を見た。

麓の雪は溶け切り、けど山上にはまだ残雪がある頃、少し冷たい風が車内を泳ぐ。ここは東北本線国見峠を超えたあたりだろうか。まだ目的地までしばらくある。

ふと窓の外に目をやると、桜並木に目が奪われた。この時期は満開だった。白石川の河川敷にはお花見に来たであろう家族連れや、友達などで賑わっていた。

それを見ていると、なんだか私も笑顔が溢れた。

そして同時に「着いたら家族と何処かに行こう。」そう心に決めた。

さあ降りる支度をしよう。

今も私は、この旅路を辿っている。